

地震発生、そして

～訓練ドキュメント～

11月9日 8:00

地震発生



避難呼び掛け



迅速に避難



避難終了後
リーダーを選出し報告



災害トイレ・
浄水器を設置



災害ボランティア
人数報告



災害対策本部からの最新情報をこまめに伝達



自主運営組織の立ち上げ
訓練



災害発生時の 行動を再確認 町防災訓練

町では、大地震の発生を想定した防災訓練を11月9日、大網白里アリーナで実施しました。
この訓練には、地域住民や自主防災組織、消防団、町職員、自衛隊など約800人が参加。災害時のそれぞれの役割を確認しました。
訓練では、午前8時にマグニチュード6・8の地震が発生したと想定。防災無線で地震発生を呼び掛け、始まりました。
大網白里アリーナへの住民避難が終了すると同時に、避難所を立ち上げて運営する訓練を実施。避難した住民は、班ごとに話し合っておりリーダーを選出し、それぞれの役割を分担しました。
災害対策本部では、県へ自



応急処置法の実践訓練

衛隊の要請・災害協定に基づき姉妹町の中条町への要請を行う情報伝達訓練も実施。簡易トイレ・浄水器を設置する訓練や災害ボランティアの報告訓練なども災害時さながらに、迅速に行われました。
また、消防団は災害時に水利の確保が困難なことを想定し、会場周辺で中継送水訓練を実施。連携を確認し合いま



初期消火訓練を体験する参加者
消防団による中継送水訓練

このほかにも、消防署員の指導で、けがの状態に応じた応急処置法、心肺蘇生法とAEDの使用方法を学習したり、自衛隊による炊き出しも実施されたりと、多くの関心を集めました。
そのほかにも地震車を駆使した地震体験や、消防署員が指導する初期消火訓練、住宅耐震をテーマにした講演会や相談会などが行われ、参加者は地震の恐怖や日ごろの備えを学びました。
堀内町長は訓練にあたって「この訓練を機に、一人ひとりがこれまで以上に災害に関心を持ってもらいたい」と語りました。

各地区でも 防災訓練

日ごろから地区の自治会などの防災訓練に参加し、避難経路や応急処置法の確認をしておくことはいざというとき、非常に役に立ちます。

ここでは、10・11月に、町内の各所で行われた防災訓練を紹介します。

みずほ台2・3丁目自治会



みずほ台2・3丁目の自治会が、今年で10回目となる防災訓練を10月26日に実施。地区住民がみずほ台公園に避難し、避難報告などを行いました。その後、参加者は、南消防署員の指導で、消火器扱い訓練や救命訓練を行ったり、煙体験ハウスでの火災時の煙体験や、消防団の放水訓練を実施しました。
また、訓練終了後には炊き出しのカレーライスを試食しました。

白里幼稚園



白里幼稚園の園児と保護者を対象に、10月29日、地震体験を実施しました。
参加者は、女性消防団員の説明を聞いた後、地震車に乗り大地震の恐怖を体験しました。

大あみハイツ



大あみハイツ自治会自主防災組織で防災訓練を11月2日に実施。地震を想定し、避難訓練を行いました。住民の避難と同時に、マンション2棟のそれぞれに受付を設置。ボードに避難状況を記入しました。また、高層階に残された要援護者の救助訓練や、南消防署員の指導で初期消火訓練を行いました。